

羽佐竹農業団地においてキャベツ定植開始！

【平成 28 年 8 月 19 日掲載】

8月1日、園芸品目の生産拡大を進めるため、草地を畑地に再整備した安芸高田市高宮町の羽佐竹農業団地において、イオンアグリ創造（株）がキャベツの定植を行いました。同社は全国で21農場を展開しており、当農場は20番目の農場となります。

この日は日差しが強く、キャベツの苗が萎れないように適宜かん水しながら約60aのほ場に定植しました。今後、9月にかけてキャベツ、ブロッコリー、はくさいを約4ha定植する予定です。当面は防除などの管理作業を行い、10月に初収穫を迎えます。

西部農業技術指導所は、平成25年度から再整備前の土壌調査を実施し、関係機関と連携して土壌改良を進めてきました。また、今回の定植に関して、作型や品種選定、かん水や畝立てなどの栽培技術について支援してきました。

羽佐竹農業団地は、平成29年度から2カ年で約20haの農地を新たに整備する計画となっており、町内の担い手が新たに経営を開始する予定です。また、イオンアグリ創造（株）と町内の担い手は、効率的な経営を進めていくため、共通して生産する品目について、機械を共同利用するなどの検討を始めています。羽佐竹農業団地がキャベツを中心とした園芸品目の生産拠点となるように早期に生産安定するよう土壌改良支援を実施し、担い手を中心に生産を飛躍的に増やしていきます。



【定植前の畝のかん水】



【羽佐竹農業団地（約12.7ha）】